

## 令和4年度(2022年度)施政方針

「なんだかんだ言っても  
町田が一番」  
と言われるまちづくりへ

町田市長 石阪丈一

令和4年度(2022年度)第2回市議会定例会が開会され、石阪市長は6月2日の本会議で施政方針を表明しました。ここでは、その概要を掲載します。全文は市HPでご覧いただけます。

問企画政策課 ☎724・2103

## 2022年度の市政運営の視点

グローバル化やデジタル技術の進展は、生活の利便性を飛躍的に向上させた反面、ひとたびバランスが崩れると、私たちの日常に大きな影響を及ぼします。国内における物価の上昇は市民生活に不安を与えており、状況を注視しています。

また、人口減少や少子高齢化は確実に進み、2040年が一つのターニングポイントとして、人口構造が大きく変わっていきます。

町田市では、43万人を超えるなど人口増加や若者の転出の改善が見られますが、今後の人口推移は国同様であり、人口減少や少子高齢化といった社会的な課題に、果敢に取り組んでいかなければならないと感じています。

この4月にスタートした「まちだ未来づくりビジョン2040」は、市民の皆さんと共に作り上げ、“子どもにやさしいまちは誰にとってもやさしいまち”との考えのもと、2040年に向けて子どもの視点でまちづくりを行うことを一番に掲げています。

先行きが不透明な時代こそ、未来に向けた明確なビジョンを描き、それを実現していき、10年後も、20年後も多くの方々に選ばれ続けられるよう、「なんだかんだ言っても町田が一番」と言われるまちづくりを進めていきます。

## — 2022年度の主要な施策 —

「まちだ未来づくりビジョン2040」に掲げる3つの「なりたいまちの姿」と1つの「行政経営の姿」ごとに紹介します。

## なりたいまちの姿



## ● ここでの成長がカタチになるまち

- 市内3か所目の病児保育施設「南町田病児保育室じんべえ」の開設
  - 働きながらでも安心して子育てできる環境に。
- 南地区に認可保育所、小山田地区に小山田子どもクラブを整備
  - 2023年度に開設し、子育て世帯に選ばれる町田の更なる強みへ。
- 保育コンシェルジュの拡充と保育士サポートロイヤールの導入
  - 保育士が安心して保育に専念できる環境を整え、保育の質の向上へ。
- 児童相談所の市内設置に向けた都との協議
  - 子ども家庭支援センターと児童相談所の更なる連携へ。
- 「(仮称)子どもにやさしいまち条例」制定の検討
  - 2023年の制定を目指し、子どもたちの基本的な権利を明確に。
- 「まちだの新たな学校づくり」に関する基本計画の策定
  - 未来の子どもたちの教育環境を整え、教育の質の向上へ。
- 中学校給食センターの整備・運営
  - 町田市初のPFI手法を活用した官民連携による「食を通じた地域みんなの健康づくり拠点」に。

## ● わたしの“ココチよさ”がかなうまち

- 多摩都市モノレール延伸に伴う町田駅周辺の整備
  - 商業等を始めとした多様な機能が集積した都市拠点に。
- 鶴川駅周辺のまちづくりの整備
  - 南北をつなぐ安全で便利な歩行者ネットワークを形成し、回遊性のあるまちに。
- 相原駅周辺のまちづくりの整備
  - 東口アクセス道路と駅前広場の整備により、駅のにぎわいや拠点性の向上へ。

## ● 誰もがホッとできるまち

- 相原地区・小山地区をモデル地区とした新たな相談支援体制の構築
  - 地域福祉コーディネーターを配置し、一人ひとりの状況に応じた支援に。
- パートナシップ制度の導入
  - 当事者の皆さんに寄り添い、安心して暮らせるまちに。
- 芹ヶ谷公園“芸術の杜”内の(仮称)国際工芸美術館の整備
  - 多様なアートに親しむ入り口となる、町田市を代表する公園に。
- 健康増進温浴施設の開設
  - 地域の皆さんのホッとできる「憩いと地域を育む、多世代ふれあいの湯」へ。
- 忠生スポーツ公園の整備
  - 2023年の開園を目指し、さまざまな世代が目的に応じて使える広場に。
- 防災学習や各種訓練を提供するポータルサイトの立ち上げ
  - 防災意識の向上と地域の結び付きを強化し、自然災害にも対処できる強いまちへ。

## 行政経営の姿



## ● みんなの“なりたい”がかなうまち

- 共創による地域社会づくりの推進
  - 活発な地域の取り組みに寄り添い、ともに地域社会における新たな価値の創出へ。
- 行政のデジタル化の推進
  - 行政サービスを変革し、「人手のかかるサービスデザイン」から「デジタルベースのサービスデザイン」へ。
- 「教育センターの複合化」に係る基本計画の策定
  - 子ども関連施設の複合化により、誰にとっても利用満足度の高い公共施設へ。

## むすびに

2022年度は、「まちだ未来づくりビジョン2040」の初年度であり、町田市の未来に向けた大切な1年目です。市長就任以来、町田の未来をつくるために、私が最も大切にしてきたことは「すべての世代の方々に生活の質の向上を実感していただく」こと、そして、「市民目線で行政経営改革を進める」ことです。市政を担う、この任期4年に当たっては、引き続き、この2つの志を抱きながら、真摯に、市政運営に取り組んでいきます。

